

納付金算定システム作業分担表(R8年度機器更改)

最終更新日:2026/2/13

区分	作業名	調達業者	連合会	運用委託業者 (リウコム)
入札準備 ～契約締結	1 機器設置場所決定(LAN敷設有無・電源確保)		△	○
	2 調達仕様書作成		○	
	3 調達入札・決定		○	
	4 機器調達契約	○	○	
作業実施計画	1 作業実施計画作成	○		
環境構築準備	1 テスト仕様書兼結果確認書作成(機器構築) ※1	○		
	2 テスト仕様書兼結果確認書作成(アプリケーション) ※1			○
	3 ネットワーク機器・ベンダ固有製品の設計	○		
	4 導入手順書作成(バックアップ・リストア運用) ※2	○		
	5 導入資材作成(構築用スクリプト、コンフィグ)(バックアップ・リストア運用)	○		
	6 運用スクリプト・手順書作成(バックアップ・リストア運用)	○		
物品の調達	1 調達機器一式の確保	○		
	2 インストールメディア一式の準備	○		
環境構築／ 本設置・現地設定	1 調達した機器の現地設置、結線(リウコムデータセンター)	○		△
	2 環境構築(導入手順書 または インストールガイド(機器構築編)に従う)	○		
	3 ネットワークの接続、設定 ※3	○		
	4 初期動作確認試験 ※4	○		
	5 テスト仕様書兼結果確認書に基づく結果確認(機器構築)	○		
	6 システムバックアップ・リカバリメディア作成(環境構築後)	○		
	7 電源系統図作成	○		
	8 ラック搭載図作成	○		
	9 ケーブル結線図作成	○		
	10 ラベル対応表作成	○		
	11 諸元表作成	○		
	12 ハードウェア搭載図	○		
	13 ライセンス一覧作成	○		
	14 シリアル番号一覧作成	○		
	15 納品物一覧作成	○		
	16 検収	○	○	
システム インストール	1 アプリケーションインストール(手順は「インストールガイド(アプリケーション編)」等を参照)			○
	2 システムバックアップ作成(アプリケーションインストール後)バックアップ先:外付けHDD			○
	3 データ移行(手順は、「データ移行手順書」等を参照)			○
	4 テスト仕様書兼結果確認書に基づく結果確認(アプリケーション)			○
	5 準備テスト(切替リハーサル含む)		△	○
	6 検収	○	○	○

○:担当、△:支援

※1 環境構築が正常に行えたことを国保連合会に示すための文書。

※2 自動的に意図するフォルダ構成を作成するための構築用スクリプトや、ネットワーク機器の設定情報。

※3 保険者ネットワークへの接続、ApexOneのインストール作業等の環境構築。

※4 サーバ等の機器が正常に動作することの確認。

1. 1. 1 作業実施計画書作成

機器調達業者は、機器調達仕様書及び作業分担表を基に機器導入に関する作業実施計画書や全体スケジュールを作成すること。

1. 1. 2 環境構築準備

機器調達業者が環境構築準備で実施する作業について以下に示す。なお、国保中央会から提供する「インストールガイド（機器構築編）」の提供時期は、令和8年4月を予定している。

設定作業について、作業時間の短縮や品質向上の方法等を検討し、必要に応じて設定作業を工夫（設定スクリプトを作成する等）することで納期を遵守すること。

（1）テスト仕様書および結果確認書作成

テスト仕様書および結果確認書の作成について、以下の内容を考慮し作成すること。

① テスト仕様書

テスト仕様書の様式はフリーフォーマットとするが、機器調達業者による環境構築の方法を考慮した上で、正しく設定が行われていることを示すための仕様を記載すること。

参考：テスト仕様書の例

No.	環境構築方法	記載例	備考
1	GUIにて手動で設定	<ul style="list-style-type: none">・設定画面のハードコピーを取得すること。・GUI設定に対応する設定ファイル等を取得すること。	操作ミスがないことを保証するため、手動で設定する部分についてはすべてエビデンスが必要となる。
2	設定ファイルの配置や、設定スクリプトによる自動設定	<ul style="list-style-type: none">・設定ファイルをそのまま配置する場合は、使用した設定ファイル自体をエビデンスとすること。・設定スクリプトを使用する場合は、スクリプトの仕様を示す資料（スクリプト内のコメントでも可）と実行結果を提示すること。	-

① 結果確認書

結果確認書の様式はフリーフォーマットとするが、以下項目を含むこと。

- ・設定対象
- ・設定対象構成（国保連委託構成）
- ・作業実施日
- ・作業実施者氏名
- ・結果
- ・結果がNGの場合、理由と再確認結果等を記入する欄

（2）ネットワーク機器・ベンダ固有製品の設計

- ・ネットワーク機器について、都道府県または国保連合会から提供するネットワーク設計基本資料（IPアドレス等）を基に環境設定書（パラメータ設計・物理設計）を作成すること。
- ・ベンダ固有製品を導入する場合、設計を実施すること。
- ・ベンダ固有製品、任意製品については、設計内容をもとに運用手順書を作成すること。

（3）導入手順書、導入資材作成

導入手順書、導入資材の作成について、以下の内容を考慮し作成すること。

- ・機器の設定、OS・ミドルウェアの導入等の作業を実施するために、国保中央会から提供する「インストールガイド（機器構築編）」を基に導入手順書を作成すること。
- ・ネットワーク機器について、上記「（2）ネットワーク機器・ベンダ固有製品の設計」作業にて作成した環境設定書（パラメータ設計・物理設計）を基に導入手順書を作成すること。
- ・手順を自動化する場合には導入資材（構築用スクリプトやコンフィグ）を作成すること。

1. 1. 3 物品の調達

（1）調達対象機器（ハードウェア）の確保

機器調達業者は、本調達対象となっている機器一式（ハードウェア）を確保すること。

（2）調達対象ソフトウェアの準備

機器調達業者は、調達対象ソフトウェアのインストールメディア一式を、国保連合会が指定する場所に納入すること。

1. 1. 4 本設置準備

(1) 機器設置場所の決定、設置に必要な工事（電源、LAN、WAN 等）

機器調達業者は、国保連合会が実施する設備工事（電源工事、空調工事等）を含む作業が円滑に進むよう、あらかじめ国保連合会と日程や段取り等について協議し、承認を得ること。

(2) 現地下見等

機器調達業者は、現地下見に関して、日程、立ち入り区域および現地対応者等について、国保連合会と調整して承認を得ること。

現地下見により機器設置場所の設置条件等を確認し、本設置の際に必要となる資料等*を作成し、都道府県または国保連合会と調整して承認を得ること。

*電源系統図、ラック搭載図、設置図面、ケーブル結線図（ネットワーク、電源）

1. 1. 5 環境構築／本設置・現地設定

(1) 調達機器の現地設置、結線を実施

- ・機器調達業者は、国保連合会都の指定する場所へ搬入・本設置すること。
- ・機器調達業者は、必要に応じて事前作業（ラック間ケーブルの床下配線やラック転倒防止対策の準備等）も実施すること。
- ・機器調達業者は、機器のラック据付けとケーブル類を接続すること。

(2) 調達対象機器の環境構築

- ・機器調達業者は、環境構築準備にて作成した導入手順書や資材等を使用してインストールや設定を行うこと。
- ・機器調達業者は、ソフトウェアのライセンス登録について、必要な情報を国保連合会から入手し、インストール作業の一環として、OS・オフィス製品を含め落札者がライセンス登録を行うこと。
- ・機器調達業者は、各機器に対して、機器を識別する情報（機器名、ホスト名）を明示したラベル等を本体の前面および背面に貼り付けること。また、ラベル対応表を作成し納品すること。
- ・機器調達業者は、国保中央会から提供する「インストールガイド（機器構築編）」について、改訂版が掲載された場合は内容を確認し、必要があれば導入手順書を修正し、ミドルウェアの追加設定作業を行うこと。

(3) ネットワーク接続、接続後の設定を実施

- ・機器調達業者は、導入手順書を参考に、機器のネットワーク接続、接続後の設定を行うこと。
- ・国保連合会は、機器調達業者のネットワーク接続の支援を行うこと。

(4) 初期動作確認試験の実施

- ・機器調達業者は、「インストールガイド（機器構築編）」に記載されている各種インストール、設定作業後に手順化されている確認項目を実施すること。

(5) テスト仕様書および結果確認書に基づく構築結果の確認および報告

- ・機器調達業者は、テスト仕様書および結果確認書に基づき、確認試験を実施すること。また、テスト仕様書および結果確認書を国保連合会に提出すること。
- ・国保連合会は、構築された環境についてテスト仕様書および結果確認書を基に確認する。

(6) 検収

- ・機器調達業者は、「納品物一覧」等の納品物（「機器等調達仕様書 6. 5 調達事業者納品物」を参照）を国保連合会へ提出すること。
- ・国保連合会は、納品された機器、資料およびその内容の確認を行うこと。
- ・機器調達業者は、国保連合会が行う検収にかかる作業を支援すること。